

町 長	副町長	教育長	課 長	主 幹	担 当	合 議

別記様式第4号

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会 議 ・ 打合せ ・ 協 議	文書番号	
		決裁期日	令和元年11月18日
名 称	文化財保護委員会会議		
日 時	令和元年11月15日（金） 13時30分～14時30分		
場 所	公民館 2階第3研修室		
出席者	文化財保護委員 7名（別紙参照） 教育委員会：服部教育長、及川教育振興課長、眞鍋主幹 長谷川主査		
内 容	<p>委嘱状交付 上富良野高校 辻 芳恵校長（任期H31.4.1～R2.3.31） ※前任の田端校長退職による委嘱</p> <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別紙議案にもとづき、郷土館の日曜・祝日開館、郷土館及び開拓記念館の来館者状況について説明。今年度は町で進める「泥流地帯」の映画化の関係か、舞台となった当町へ文学記念碑や郷土館を見学する方が増えた。また外国人来館者の有無について質疑があり、外国人は0人で報告。 ・今年度実施した2つの事業について説明。 バスツアーでは、協力した郷土を探る会として、親子参加はいいが子どもの年齢が低すぎて説明が難しかった。準備の関係から、次年度は参加者が決まりしだい情報提供する。 子どもたちにアイヌの文化を学ぶ機会を作るため、白老にオープン予定の「ウポポイ」や旭川博物館も候補地として検討する。 ・文化祭における特別展示は圧巻の展示であった。よつばの会の活動は今後どのように引き継ぐのかとの質疑に対し、現在も10大ニュースのため新聞に掲載された、町内の出来事はコピーをとっている。今後はそのような対応でカバーしていく旨を説明。 ・その他で協力した事業や、昨年度作成した監的壕の設置状況を報告。 		

【協議事項】

・郷土館展示物にQRコードを設置しスマートフォンやタブレットで展示物の説明が見れるよう整備を進める。現在は限られたスペースに説明版を設置しているため、展示物の情報量が少ない。もっと見やすく、わかりやすい展示物の説明ということからも有効的だと考えている。説明には知識が必要であることから、郷土をさぐる会へ協力をお願いしたい。

【その他】

- ・郷土をさぐる会では、町の様々な分野で活躍・貢献された人たちをまとめた「上富良野人物事典」を制作予定。発行はR4年を予定している。各機関の名簿等が必要となるため町や教育委員会も共催としてお願いしたいと考えている。
- ・子どもたちに、アイヌ文化を学ばせる施設であれば、旭川の川村カ子トアイヌ記念館も良い施設だと思う。
- ・十勝岳噴火に関する「自然災害伝承碑」は防災、観光等リンクして活用していく。

内 容